

〈三郷学の視点⑩〉

三郷学の視点

5. つなぐ②(拠点〈集積地〉でつなぐ)

三郷市の新拠点の一つとして、三郷中央地区は、UR都市機構によって整備されています。その中には、つくばエクスプレス三郷中央駅を降りるとすぐ目の前に、川の両岸を緑が包み込む三郷市の川に囲まれた水と緑の豊かな特性を活かした「におどり公園」があります。この公園は、「人々が集い交差する生活舞台」をコンセプトとして、平成16年度から整備し、平成20年3月に完成しました。

公園名は、数ある一般公募の中から選ばれた、森栄太郎氏の命名であり「におどり」は、市の鳥である「カイツブリ」の別名で、市内の河川に多く生息している水鳥で

す。この公園にも、その中央を流れる第二大場川には水鳥の安らぐ姿が見られ、親水広場や、広々とした芝生広場があります。

また、この公園で毎年夏に行われているmisato style(みさとすたいる)は、三郷市と三郷市観光協会が主催し、三郷の魅力を、幅広い世代にPRするものです。キャンドルナイト、ジャズの生演奏、市内外の特徴あるグルメ、三郷の名産品・地産品の販売を行い市内外の方に楽しんでいただけるよう開催しています。

「におどり公園」は、第二大場川の歴史と自然、つくばエクスプレスや三郷市の表玄関としての土地区画整理事業により整備された魅力ある住環境と産業の営み、観光など、三郷の魅力ある資源の集積地です。

